

論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博（医）乙第1778号	氏名	西岡 健治
論文審査担当者		主査教授	丹羽 正美
		副査教授	相川 忠臣
		副査教授	河野 茂
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、合成麻薬フェンタニルの気道に対する作用機序を解明し、麻酔管理におけるフェンタニルの全身麻酔補助薬としての有用性を明らかにしようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 抗原誘発性気道収縮モデル（オバルミン誘発性喘息ラット）を用いた生体位気道抵抗実験および摘出気管リング法など、確立された薬理的解析法で解析したもので、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、フェンタニルによるアセチルコリンニューロン神経伝達物質遊離抑制による気道収縮抑制機構を明らかにし、今後の臨床麻酔管理学の進展が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は、非アルカロイド性合成麻薬の全身麻酔における臨床的意義の解明に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			